

公園の風景

= トンボ観察会 =



5月5日（木・祝）汗ばむほどの暑さの中、トンボ観察会に同行取材しました。中央園路よりトンボの餌となる多数のユスリカの歓迎を受けながら観察に出発。トンボは活動を始めたばかりでしたが、アオモンイトトンボやショウジョウトンボなど8種のトンボが確認できました。この時期にしか見られないベッコウトンボ（絶滅危惧種）も活動中で参加者の興味をひいていました。最後に最新版のトンボガイドの冊子が参加者に配布されました。

これから夏に向けていろいろなトンボが飛び交う公園はトンボの楽園です。

= オオヨシキリ =

初夏の日差しを感じるようになり、ヨシ原がにぎやかになってきました。“ギョギョシギョギョシケケシ…”と特徴のある鳴き声で縄張りを主張しているのはオオヨシキリです。中央園路からヨシ原を眺めるとオオヨシキリが出入りしており、ヨシの上部に止まっている姿もよく見えます。

3月のヨシ焼き後に伸びてきた緑色のヨシと去年からの枯れ色のヨシがコントラストをなす、美しいヨシ原で今年もオオヨシキリが生き生きと囀っています。

= 赤い実を食べるのは誰? =

公園内のとある場所に小さなノイバラの蕾のような花をつけた植物を発見。よく見ると葉はイチゴの葉に似ていますが、花の色が白ではなくピンク色です。図鑑を広げてこれでもない、あれでもない…と検討し、エビガライチゴ（別名ウラジロイチゴ）ではないかという結論に達しました。エビガライチゴなら、8月にはツブツブ状の赤い実をつけるはずです。昔食べたキイチゴのおいしさを思い出し



エビガライチゴもぜひ味わってみたいとにんまりしましたが、はたして赤い実を食べるのは誰??